博士前期課程(修士) / 健康看護学領域 / 地域・精神・保健学分野科目コード:220011

地域看護診断・展開演習 Seminar in Diagnosis and Operation Community Health Nursing Diagnosis

担当教員		石垣 和子 阿部 智恵子 織田 初江 塚田 久恵				
実務経験						
開講年次		1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択		選択	時間数	30		
Keywords					•	
学習目的	・目標	活動という観点で国内 展望などから地域看護 1.事例を通じて地域や 地域看護専門看護師に 2.諸外国の活動と比較 機能についてのグロー	外のモデル的・先駆的な 専門看護師に必要な活動 組織の情報収集と分析、 必要な地域看護診断・沿 検討することを通じて、 バルな視点を養う。	は・市町村、あるいは民 多様な看護活動実践例 の展開技術や地域看護 課題の明確化、保健活動 計動の展開方法について付 力が国の保健・医療・者 ご多様な社会集団の相互	を提示し、その活動の意 診断の方法を教授する。 動の企画・実施・評価の 修得する。 畐祉政策及び看護活動に	意義・効果・将来 学習目標: の方法等を分析し、 おける看護職の役割
受業計画	・内容					
1 -2	内容 オリエンテ-	ーション、地域看護活動	の展開(個人・家族・集	長団への保健ケア)	授業 <i>力</i> 講義	方法 担当 石垣・織田
-4	地域看護活動	言護活動の国内外のモデル的・先駆的な実践例			講義	織田・塚田 石垣・織田
展開 1 課題についての討論 5-6 地域看護活動の国内外のモデル的・			先駆的な実践例		討論講義	織田・塚田 石垣・織田
-8		こついての討論 ・家族・集団への保健ケ	アを中心とした展開方法	去と技術開発	討論 プレも	織田・塚田 ヹン 石垣・織田
-10	演習2 関連機関とのネットワーク形成、連携における方法と技術開発				プレも	織田・塚田 ヹン 石垣・織田
1-13	3 演習3 地域における地域看護の展開事例を元に理想的な地域看護活動あり方について考える。				て考える。 プレヤ	織田・塚田 ヹン 石垣・織田
14-15 まとめ 成果		発表			成果夠	織田・塚田 養表 石垣・織田
						織田・塚田
教科書		文献等、適宜配布する	•			
参考図書等		適宜配布する。				
評価指標		課題及び成果発表と討論への参加状況50%、レポート内容50%により、地域看護専門看護師に必要な活動の展開技・や地域看護診断の方法の獲得状況を総合的に評価する.				
関連科目						
教員から メッセー	学生への ジ					